

令和 6 年度 相模原療育園事業報告

1 療養介護事業

1) 利用者状況

(1) 入所者 57 名 (男 26 名 女 31 名)

(2) 年齢別 (最高年齢 : 76 歳 最低年齢 : 20 歳 平均年齢 : 48.24 歳)

歳	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70 以上
男性	0	4	2	5	7	6	2
女性	0	5	4	3	13	5	1
計 (名)	0	9	6	8	21	10	3

(令和 7 年 3 月末現在)

(3) 入所者医療度

項 目	人 数
超重症児	7 名
準超重症児	3 名
気管切開	5 名
中心静脈栄養	2 名
胃 瘻	14 名
経鼻経管栄養	4 名

(4) 大島分類

大島 分類	人 数
1	23 名
2	20 名
3	1 名
4	4 名
5	6 名
6	1 名
8	1 名
9	1 名

(5) 1 年間の推移

新規入所	3 名
転 所	0 名
死 亡	0 名

2) 医療

令和 6 年度は 3 名の新規長期入所者受け入れを行った。

脳血管障害発症や誤嚥性肺炎の反復で経口摂取困難となり、新たに経管栄養を開始した利用者は 2 名。新たに胃ろう造設を行った利用者は 1 名。腸閉塞反復により中心静脈栄養を継続して実施している利用者は 2 名。尿閉や尿路結石反復で新たに 2 名が膀胱カテーテル留置となった。排痰補助装置の使用者也増加しており、何らかの医療デバイスを要する利用者の数は増加している。それに伴い、高次医療機関への緊急搬送や受診、転院し専門的な医療を受ける利用者も増加している。

3 月から園内における食事提供方法の変更があり、食形態についても再検討を行った。

感染症については、10 月に新型コロナウイルス感染症罹患者が 2 名みられたが、感染予防策を徹底し、感染拡大には至らなかった。インフルエンザ罹患者はみられなかった。

短期入所者については新規受け入れ者を増やしており、在宅人工呼吸器療法を行っている

方も引き続き受け入れを行った。

3) 看護

新型コロナウイルス感染症が5類に移行、面会時間拡大など対策が緩和され、10月に利用者3名の陽性が判明した。また、インフルエンザウイルスも含めスタッフの陽性判明もあったが利用者への感染拡大には至らずに済んだ。

新規入所者が3名増えたが、重症心身障害による合併症は年齢と共に出現する方が増え、摂食嚥下機能低下により経鼻経管栄養の方が2名増えた。また、状態悪化に伴い他院受診が91件（うち緊急受診が14件）と多く、他院へ入院する利用者も9件あり医療的ケアの利用者は増加傾向である。利用者の状態は日々変化しており職員間でカンファレンスを行い、情報共有し看護に繋げるよう取り組んだ。

ACP（アドバンスケアプラン）については、利用者らしい人生の看取りを考え、ご本人・家族等を含めご意向をくみ取るよう関わっていくとともに、多職種でカンファレンスを行い、一緒に考えながら実践・継続していくとともに、さらに知識の習得に努めたい。

4) 生活支援

今年度は4グループ体制のもと、個別支援計画に基づき、個々に応じた支援を実施した。

今年度は4月に1名、8月に1名、9月に1名が入所となった。

家族等の面会については、感染対策を講じながら、面会時間を平日はフリー、土日祝日は予約制とし面会の拡充に取り組んだ。家族等との触れ合いの時間を長く設けることで、ご利用者様も喜びの姿が多く見られた。

年間のイベントは2大行事を行った。夏祭りでは様々なアトラクションを行い家族等と共に夏の雰囲気を楽しんだ。クリスマス会ではシャンパンタワーを行い会場から歓声があがり、フルート演奏や聖歌隊の歌声等で優雅なクリスマス気分を味わえたひとときとなった。

12月にはボランティアによるクリスマスキャロリングが行われ、素晴らしい歌声に癒された時間を過ごすことが出来た。

活動に関しては、目的別のカーハイクや外出等、利用者の個々に応じた活動に取り組み支援の拡充を行った。

今年度のカーハイクでは久しぶりに横浜や江ノ島等へも足を伸ばし、近隣の公園やテーマパーク、ショッピングへと外出し、散策や外気に触れ、気分転換を図った。

また、5月には「緑の祭典“かながわ未来の森づくり”2024 in さがみはら ～相模原市市制施行70周年記念植樹祭～」にご利用者が参列しゲストをお迎えするという大役を果たした。秋にはセイコーエプソン株式会社による「ゆめ水族園」を開催し、映像、音楽等を主としたやわらかな空間の中で、視覚、聴覚、触覚などを通じて豊かな感覚刺激を体験することができた。また、桜美林大学の学生による『合唱寸劇 水戸黄門』が上演され、次々と展開される歌やアトラクションで活気溢れるひとときとなった。

研修に関しては、10名の職員が県内外での集合研修に参加し、よりよい支援について学び支援力を深めた場となった。また、調整会のメンバーが主体となり、安全研修等の実施や個別でのeラーニングの受講により各人が自身の支援技術を再確認することができた。

人材育成に関しては感染予防を徹底し5校、計8名の保育実習、介護実習を受け入れた。

【 令和6年度 年間活動内容 】

活 動			カーハイク		
月	内 容	行事・小行事 外出	所在地	外出先	体験活動
4	戸外活動「お花見」×5回 買い物(コンビニ)とお花見×3回 バランスボール ポッチャ 戸外活動「こもれびの森」 外気浴「園周辺散策」 戸外活動「慰霊塔散策」 リラクゼーション・ヨガ				
5	スヌーズレン「ビニール風船・パラシュート」 散策・しゃぼん玉 足浴 戸外活動「慰霊塔にてパルーン」 男女対抗ボーリング対決 エアートランポリン×2回 棒倒して行き当たりばったり散策 ヘッドマッサージ ミニボーリング		藤沢市 横浜市 八王子市	新江ノ島水族館 ズーラシア動物園 長池公園	水族館観賞、ドライブ 動物とのふれあい 公園散策
6	園周辺散策 スヌーズレン・ハンドマッサージ トランプ(ババ抜き) 全身ストレッチ・ふれ合い パルーンでストレッチ スヌーズレン エアートランポリン×3回 ボーリング・紫陽花鑑賞 スヌーズレン「プラネタリウム」 スヌーズレン「梅雨」 足浴		藤沢市 海老名市	新江ノ島水族館 ららぽーと海老名・ ロマンスカーミュージアム	水族館観賞、買い物 買い物、ミュージアム鑑賞
7	雨遊び 戸外・スヌーズレン「夏を感じる」 氷の活動 制作「金魚鉢風船作り」 足浴 ムーブメント「キャンプに出掛けよう」 全身マッサージ・触れ合い ボーリング エアートランポリン ウォーターベッド ハンドマッサージ(手浴・足浴) 和太鼓演奏	ボランティアによる ハンドマッサージ 夏祭り「夏祭りだよ、 全員集合！」	横浜市 相模原市	横浜イングリッシュガーデン イオン相模原・イトーヨーカ堂古淵店	植物観賞 買い物
8	制作「金魚鉢水風船作り」 エアートランポリン 制作「スライム作り」 ボーリング		相模原市 相模原市	イオン相模原・イトーヨーカ堂古淵店 アリオ橋本店	買い物 買い物
9	「ゆめ水族園」月間	EPSON「ゆめ水族園」	多摩市 横浜市 相模原市	サンリオピューロランド 横浜ランドマークタワー・展望台 ふれあい科学館	散策・買い物・おやつ 散策・おやつ 科学館鑑賞
10	慰霊塔散策 誕生日の買い物(コンビニ) 戸外活動 ボーリング オノマトペビンゴ	女子美術大学相模原キャンパス 「さがみ風っ子展」	相模原市 横浜市 相模原市	相模原公園 ヤマハミュージック よこはまみなとみらい JAXA相模原キャンパス・ 宇宙科学研究所	散策・ドライブ 音楽・楽器に触れる 施設見学・買い物
11	慰霊塔散策 戸外活動「秋の風を感じる」 近隣散策(商店街) ムーブメント「きのこ狩り」	観劇「水戸黄門」(桜美林大学)	座間市 調布市 藤沢市 愛甲郡愛川町 相模原市	座間イオンモール プロペラカフェ 新江の島水族館 服部牧場 イオン相模原・イトーヨーカ堂古淵店	買い物 おやつ・リラクゼーション 水族館観賞・ドライブ 動物、自然とのふれあい 買い物・ウィンドウショッピング
12	外気浴 周辺散策「利用者と道を選びながら・・・」 買い物(クリスマスケーキ)	クリスマス会 キャロリング			
1	園周辺散策	お正月お楽しみ 相模大野ステーションスクエア (買い物) カラオケ			
2	手浴・足浴・マッサージ 買い物(ローソン)	いちご狩り			
3	エアートランポリン 買い物(ローソン) 桜を探しに行こう(慰霊塔散策) お花見・買い物(誕生日ケーキ)				

5) 薬局

今年度も常勤薬剤師 2 名で業務を行った。院内処方箋の正確な調剤、院外処方箋の監査、医薬品・消毒剤等の適切な在庫管理を行った。また災害時等の備蓄薬についてもリスト作成し在庫管理を行った。後発医薬品の出荷調整が続き、処方された医薬品の剤型・メーカー変更を数品目実施した。

病棟業務として定時薬・臨時薬処方箋の確認、配薬カートへの定時薬・臨時薬の充填、食事・予約確認表の作成、水剤の計量、注射剤の個人別セット、病棟配置薬の管理、昼食時の配薬など医薬品に関わる業務全般を行った。麻薬の使用に向けて看護師と連携をとりながら手順書の準備を進めた。短期入所者の薬の管理、電子カルテの代行入力を行った。

各種委員会やケース会議に参加し、多職種と連携してチーム医療に貢献した。新規採用医薬品使用時は、その副作用等注意事項を利用者に係る職員に伝達した。医薬品に関する情報伝達媒体「DI ニュース」の発行を 2 か月に 1 回行った。全職員対象の「医薬品安全管理のための研修会」を e ラーニング型式で実施し医薬品に関する様々な知識等を職員に伝達した。院内外の研修会・説明会等に積極的に参加し、専門的知識の向上に努めた。

不動産在庫を減らすために各医師と情報共有してコスト削減に努めた。

< 処方箋発行数 > (令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月) (単位：枚)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
定時	56	79	67	62	60	77	75	57	64	58	54	82	791
臨時	196	161	150	158	126	139	167	151	194	139	171	198	1950
外来	3	5	3	4	1	3	2	2	2	1	0	2	28
注射	73	54	29	28	71	84	70	97	142	124	102	103	977

6) リハビリテーション

理学療法士 (PT) 常勤 3 名、作業療法士 (OT) 非常勤 2 名で、利用者個々の必要性に応じて理学療法と作業療法を実施した。PT について、常勤職員 1 名が 6 月末で退職し 3 名体制となった。リハビリテーション実施人数は延べ 3,583 人 (前年同期間比 1,182 人減)、実施単位数は 4,769 単位 (1,530 単減) であった。実施人数と実施単位数の減少は、主に入所利用者に対応していた常勤理学療法士が退職したことが影響している。

入所主担当 PT 3 名が中心となり、呼吸介助や排痰が必要な利用者に対する毎朝のカフアシスト、腹臥位による呼吸ケアと姿勢ケアを実施した。各グループのケース会議の中でリハビリテーションカンファレンスを実施した。入所利用者の補装具については第 2・4 水曜日に車いす・座位保持装置・下肢装具の定期的な修理・作製を行った。作製件数は車いす作製 3 件であった。

7) 栄養

管理栄養士 1 名、調理職員 4 名 (7 月から 11 月は 3 名)、非常勤職員 2 名で食事提供を行った。厨房職員欠員のため、1 日の勤務人数と時間を変更し、使い捨て食器を一部使用して食事提供を行った。初めての試みとして、神奈川県立西部総合職業技術校 介護調理コースの技術校生 1 名の校外実習の受け入れを行い、仕込みから盛り付け、洗浄や簡単な調理などを経験してもらった。

調理師考案メニューの実施を4回行い、夏まつりではリクエストに応じて屋台メニューを、クリスマスには彩り豊かな洋食メニューの提供を行った。

厨房の改修工事に伴い、食事の提供方法が従来のクックサーブ方式から、マイクロ波再加熱カートを使用したニュークックチル方式へ切り替わることが決定した。栄養管理委員会・摂食評価会議では、新たな食事形態移行の検討や職員への試食会などを行った。新調理方式へ切り替えるためのあらゆる準備を行い、3月4日から仮設厨房において食事提供を開始した。

栄養管理では電子カルテ導入に伴い、栄養管理計画書の作成を栄養管理ソフトの様式から、電子カルテ内の様式に切り替えた。



2 短期入所事業

1) 利用者状況

(1) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	16	15	21	20	17	17	15	21	13	8	18	18	199(名)
延日数	94	88	94	99	98	85	72	88	72	40	77	91	996(日)

(2) 利用者年齢別

年齢	人 数		
児 童	2歳未満	0名	計 4 名
	2～6歳	0名	
	7～17歳	4名	
成 人	18～19歳	2名	計 33 名
	20歳以上	31名	

(3) 重症度スコアに基づく準・超重症児者数

スコア	人 数	
超重症児 (25以上)	18歳未満	0名
	18歳以上	4名
準超重症児 (10以上)	18歳未満	1名
	18歳以上	4名
医療的ケア	18歳未満	1名
	18歳以上	4名

- ・空床を利用し、緊急な受け入れ3名に応える事ができた。
- ・見学2件、事前診察4件、新規契約1件あった。

2) 医療・看護・生活支援

4月より医療ケアの受け入れを再開し9件の事前診察、12件の体験入所を受け入れ契約を結んでいる。コロナ感染症は減少してきたものの、感染が認められた場合入所を中止し、発熱があった場合は速やかに連絡してもらうことで感染を抑えられた。

8月より衣類のリース契約を始めた。120cmからLまでのサイズを展開し誰もが着やすい素材・形のものを準備している。家族等からは、入所時の持ち物が楽になったという声も多く聞かれる。

令和7年3月から新しい給食システムになり、食事形態に関して不安もあったが、事前に説明し、また実際に見に来ていただく事で、ご理解いただき特に問題なく安全な食事を提供できている。

3) 薬局

入所時面談に同席し、短期入所者の持参薬を鑑別し、安全な服薬管理に努めた。令和6年2月より、電子カルテ上での短期入所者持参薬入力業務を実施した。

<持参薬鑑別件数> (令和6年4月～令和7年3月)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	14	12	16	14	16	15	12	20	11	9	16	15	170

4) 栄養

医師の食事箋に基づき食事を提供した。

アレルギーがある利用者には、個別に献立を作成し代替の食事提供を行った。

水分補給でゼリーを嚙食している方用に、必要量のゼリーを作り提供した。

3 生活介護事業

1) 利用者状況（令和7年3月31日現在）

(1) 登録17名（男5名 女12名）

(2) 年齢別（最高年齢：43歳 最低年齢：19歳 平均年齢：27歳）

歳	18～20	21～30	31～40	41～50
男性	0	2	2	1
女性	2	8	1	1
計（名）	2	10	3	2

(3) 利用者医療度

項目	人数
超重症児	2名
準超重症児	2名
気管切開	2名
胃瘻	5名
経鼻経管	2名
呼吸器	1名

(4) 大島分類

大島分類	人数
1	12名
2	1名
3	1名
4	3名
5	0名
7	0名

(2) 事業実施状況

登録数	利用人数	1日平均	送迎	給食	入浴	医療的ケア	新規	解約
17名	1,120名	4.6名	2,074名	842件	426件	8名	1名	2名

(3) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	100	100	95	102	75	91	105	97	88	88	85	94	1,120(名)

今年度は4月から新規利用者1名が加わり、利用者数19名でスタートした。7月に1名（週1日利用）が当施設の療養介護利用に伴い解約となった。空いた曜日は9月1名の利用へと繋がった。また、3月には呼吸不全により1名が永眠された。

月、水曜日に加え、木曜日も定員6名にしたことや体調不良等による欠席が減ったこともあり、前年度に比べて利用人数が増加した。

4) 事業内容

日中活動では、季節に応じた活動を通して、小集団で共に充実した時間を過ごせるよう環境構成に意識や配慮をしながら取り組んだ。支援を行っていく中で、利用者の楽しむ表情やリラックスしている様子を見ることができ、少集団である事を活かした支援を提供することができた。

午後のリラクゼーションの時間には、キーボードで音を奏でたり、タブレットで動画を見

たり、職員のウクレレ演奏に耳を傾けるなど、食後のひと時を利用者各々のんびり過ごしてもらうことができた。

個別支援計画では、ニーズに基づき支援計画を作成し実施した。日々の支援を通し、利用者の変化への気づきや視点の置き方等、実施や振り返りを重ねながら、より充実した支援に取り組んだ。また、今年度より個別支援計画の面談を4月と10月の2回実施したことにより、家族等との信頼関係を強化することができた。

家族等からの欠席連絡及び家族等への伝達事項をスムーズに行えるようにLINE WORKSを導入した。

今年度も引き続き、神奈川県立相模原中央支援学校から1名の実習受け入れを行い、次年度1名の新規利用者へつながった。

4 外来診療

1) 医療

外来は施設長と非常勤の小児科医2名、北里大学病院精神神経科医師の計4名でおこなっている。リハビリを実施する前に、毎回、リハビリがうけられる健康状態であるか、受け答えができるか、医師の指示に従えるか等の発達の確認をする目的で「リハ前診察」を行っているが、リハ前診察を除く、外来日の受診者数を表に示す。初診は97名（前年度79名）であった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診	14	9	11	10	5	12	4	6	5	9	5	7	97
再診	134	147	145	171	171	145	151	123	150	125	126	158	1,746
電話再診	2	2	2	2	7	4	6	3	3	2	4	1	38
合計	150	158	158	183	183	161	161	132	158	136	135	166	1,881

2) リハビリテーション

理学療法士常勤3名、作業療法士非常勤2名の体制で行った。また臨床心理士（公認心理師）2名による心理検査を月2回実施している。

外来患者の実施人数は延べ2,188名（前年度比79名増加）、実施単位数は6,291単位（310単位増加）であった。リハビリテーション新規患者数はPT 30名、OT 35名であった。理学療法延べ患者数1,375名（22名増加）、実施単位数3,911単位（144単位増加）、作業療法延べ患者数813名（57名増加）、実施単位数2,380単位（166単位増加）、発達検査の内訳はWISC-IV 知能検査30件実施（3件増加）、田中・ビネー知能検査V 4件実施（増減なし）であった。PT 1名を全曜日外来担当とし、もう2名は曜日担当制を継続した。

PT・OT・ST 個別療法実績（前年度増減）

		理学療法	作業療法	言語聴覚療法	合計	前年比
延べ患者数	6 歳未満	182 32	379 27	561 59	6 歳未満 -63	111.75%
	6 歳以上 18 歳未満	640 16	428 37	1,068 53	6 歳以上 18 歳未満 48	105.22%
	18 歳以上	553 -26	6 -7	559 -33	18 歳以上 113	94.43%
	合計	1,375 22	813 57	2,188 79	合計 98	103.75%
単位数	6 歳未満	514 86	1,104 61	1,618 147	6 歳未満 -186	109.99%
	6 歳以上 18 歳未満	1,855 26	1,266 122	3,121 148	6 歳以上 18 歳未満 228	104.98%
	18 歳以上	1,542 32	10 -17	1,552 15	18 歳以上 203	100.98%
	合計	3,911 144	2,380 166	6,291 310	合計 245	105.18%

3) バンビとの連携

リハスタッフがバンビを訪問し、バンビスタッフへの助言と利用児童の状況確認を行っている。OT は年 7 回訪問し、延べ 29 名の児童に対応した。PT は 2 回訪問し延べ 49 名の児童に対応した。バン療会議は Zoom を使用したオンライン会議とし、令和 6 年 10 月に実施した。

4) 外来ケース会議の開催

月 1 回の外来ケース会議を実施した。外来リハを実施しているケースについて、外来医師、外来看護師、リハスタッフが患者情報の共有を行った。

5 地域連携

1) 北里大学病院臨床研修医 地域医療研修

今年度の受け入れなし。

2) リハビリテーション 実習生受け入れ

月	期間	実習名	学校・学部名	人数
6～7 月	6 週間	4 年次 臨床実習 II	信州大学医学部保健学科 理学療法学専攻 4 年	1 名
1 月	1 週間	2 年次 臨床実習	北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 2 年	1 名

3) 理学療法士による神奈川県立相模原中央支援学校訪問

平成 23 年より学校側からの求めに応じ、理学療法士 2 名が神奈川県立相模原中央支援学校を訪問し、児童・生徒の姿勢管理などについて「相模原療育園 PT 相談」として専門的な立場から教師に助言を行っている。今年度は 6 月、10 月、1 月の 3 回の訪問を実施した。合計 13 名の児童について対応した。

4) 生活支援課 実習生受け入れ

月	期間	実習名	学校・学部名	人数
7 月	20 日間	3 年次 介護実習 I	町田福祉専門学校 介護福祉学科	2 名
9 月	12 日間	3 年次 保育実習 I	桜美林大学 健康福祉学部 保育専修	2 名
10 月	20 日間	1 年次 介護実習 I	和泉短期大学 介護	1 名
11 月	5 日間	3 年次 介護実習 I	アルファ医療福祉専門学校 介護福祉学科	2 名
2 月	12 日間	3 年次 保育実習 I	相模女子大学 学芸部子ども教育学科	1 名

5) 医学部学生実習受け入れ

今年度の学生受け入れはなし。

6) 看護課 実習受け入れ

月	期間	実習名	学校名	人数
5 月	2 日間 1 クール	3 年次 小児看護学実習	相模原看護専門学校	2 名
6 月	2 日間 3 クール	3 年次 小児看護学実習	相模原看護専門学校	5 名
9 月	2 日間 2 クール	3 年次 小児看護学実習	相模原看護専門学校	4 名
10 月	2 日間 1 クール	3 年次 小児看護学実習	相模原看護専門学校	3 名
9 月	1 日間	訪問看護実習	神奈川県看護協会	1 名
10 月	1 日間	訪問看護実習	神奈川県看護協会	1 名

6 その他

1) 職員研修

開催日	担 当	テーマ
8 月 9 日	医療安全・感染対策委員会	「急変時対応シミュレーション」 「感染と手指衛生」
2 月 3 日～ 2 月 28 日	医療安全・感染対策研修会	「身体拘束」 「インフルエンザ」

2) 施設内研修

開催日	講 師	テーマ
10 月 24 日 11 月 21 日 1 月 23 日 2 月 14 日	桜美林大学 健康福祉学群准教授 谷内孝行 氏	障害者虐待について

3) 園内実践報告会

発表者名	演題名	場所・日程
深澤 宏昭	新しいポジショニングクッションの紹介	多目的ホール 2025 年 3 月

4) 学会発表

発表者名 (共同演者含む)	演題名	学会名・場所・日程
深澤 宏昭	Joint hypermobility を有する自閉スペクトラム症 1 症例における 9 年間の理学療法経過の報告	第 11 回日本小児理学療法学会 学術大会 福島 2024 年 11 月 2 日
木村 優希	脳性麻痺患者の車椅子作製において Posture and Postural Ability Scale と カナダ作業遂行測定を用いた一例	第 40 回神奈川県理学療法士学会 2024 年 2 月 (オンデマンド配信)

5) 座長

座長名	講演名	協議会名・場所・日程
細田のぞみ	北里大学病院児童精神科の現状と 今後のエリア連携	ADHD SEMINAR IN SAGAMIHARA ユニコムプラザさがみはら 2025 年 1 月 31 日
細田のぞみ	神経発達症は COMMON DISEASE? ～睡眠・連携・早期支援を考える～	相模原・神奈川小児科医会合同学術会 (第 478 回相模原市小児科医会月例懇話会) レンブラントホテル東京町田 2025 年 3 月 11 日

6) 論文

- ① Yuki Kimura, Yasuaki Kusumoto, Hiroto Hayashi, Natsui Kyuji, Akiho Nasu, Hirotaka Gima: Reliability and Construct Validity of the Japanese Version of the Posture and Postural Ability Scale in Individuals with Cerebral Palsy. Physical therapy research. 2024;27(2):92-99.
- ② 木村優希, 樋口滋, 秋山亜衣, 楠本泰士, 阿部広和, 儀間裕貴: 学校版作業選択意思決定支援ソフトを用いた目標設定とホームプログラムにより日常生活動作に変化がみられた GMFCS レベルⅢの学童期脳性麻痺児の一症例. 小児理学療法学. 2025; 3: 69-80.

7) 講演会・講習会（「月」「講演者名」「講演・講習会名」「場所」の順に記載）

月	講演者名	講演・講習会名	場所
5 月	武田 憲子	診断・治療学Ⅱ 2 年次前期 小児の消化器疾患、小児内分泌代謝疾患の病態・ 診断・治療	東京医療学院大学保健医 療学科看護学科
6 月	深澤 宏昭	チャレンジドチアインストラクター講習会 ・チャレンジドチア・パラチアの実践にあたり、 知っておきたい障害のこと ・子どもが抱える運動の不器用を知る	スピッツェンパフォーマ ンスコンディションニン グセンター
7 月	細田のぞみ	神奈川県総合学習センター助言会議 虹色ネットの実践	Zoom
7 月	細田のぞみ	相模原市保育者キャリアアップ研修 小児の発育・発達の理解と個別的は配慮を必要 とする子どもへの対応	市民会館
8 月	細田のぞみ	相模原市保育者キャリアアップ研修 障害のある子どもの理解	市民会館
9 月	細田のぞみ	令和 6 年度教育相談スーパーバイズによる事例検 討会	神奈川県立総合教育 センター
9 月	細田のぞみ	神奈川県・横浜市・川崎市共同事業 2024 年度 小児訪問看護・重症心身障害者看護研修会 小児のてんかん、けいれん、ひきつけの医療と理 解	神奈川県ナースセンター 研修室
9 月	樋口 滋	相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護 研修 重症心身障害児者の「こころ良さ」を目指して（講 義）	相模原市立障害者支援 センター 松が丘園
10 月	細田のぞみ	令和 6 年度相模原市重度心身障害児者・医療的ケ ア児等看護研修事業 てんかんを学ぼう	松が丘園
10 月	樋口 滋	相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護 研修	相模原市立障害者支援 センター 松が丘園

		重症心身障害児者の「こころ良さ」を目指して（実技）	
10 月	深澤 宏昭	神経発達症の理学療法評価と臨床介入～実践の工夫から事例報告まで～	WEB 開催
12 月	武田憲子	令和 6 年度相模原市重度心身障害児者・医療的ケア児等看護研修事業：消化管のはなし～胃ろう・消化・栄養・排泄について～	相模原市民会館
12 月	深澤宏昭	「からだ」と「うんどう」からみる発達支援のお話	サン・エールさがみはら
1 月	細田のぞみ	相模原市小学校教育研究会 特別支援教育研究部会講演会 子どもが学校で生き生きと過ごせるように	相模原市立向陽小学校
1 月	樋口 滋	相模原市職員研修会 小児呼吸理学療法の考え方と実技について	相模原市立陽光園
2 月	深澤宏昭	神奈川県理学療法士会発達支援部講習会 「発達障害児への支援のヒント」	WEB 開催
3 月	細田のぞみ	相模原・神奈川小児科医会合同学会（第 478 回相模原市小児科医会月例懇話会） 相模原市の発達診療の現状	レンブラントホテル東京町田

8）研修・講演会参加

開催月	研修名	実施主体	参加者
4 月	第 23 回子供の福祉用具展キッズフェスタ 2024	S.P.ビームス株式会社	理学療法士
11 月	第 11 回日本小児理学療法学会学術大会	日本小児理学療法学会	理学療法士
2 月	臨床実習指導者講習会	日本小児理学療法学会	理学療法士

・看護課

開催月	研修名	実施主体	参加者
5 月	第 84 回 重度・重症児（者）医療・療育（基礎）講習会	心身障害児総合医療療育センター 療育研修所	看護師
6 月	第 10 回 障害児（者）施設 看護師 講習会 ミドルコース	心身障害児総合医療療育センター 療育研修所	看護師
7 月	感染リンクナースのための感染管理	神奈川県 看護協会	看護師
7 月	R6 年度相模原市災害医療救護対策研修及び訓練	相模原市健康福祉局保健衛生部医療政策課	看護師
9 月	新人看護職のためのフィジカルアセスメン	相模原市病院協会看護部	看護師

	ト	長会	
9 月	令和 6 年度全国重症心身障害児者施設職員研修会	公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会	看護師 2 名
11 月	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	公益社団法人全日本病院協会	看護師
11 月	第 4 9 回 日本重症心身障害者学会学術集会	大阪発達総合療育センター 総務課	看護師 2 名
11 月	2024 年診療報酬改定を踏まえた「身体的拘束最小化の基準」	日本看護協会出版会	看護師 2 名
11 月	身体拘束最小化のための倫理	相模原市病院協会看護部長会	看護師 2 名
11 月	2024 年度 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェア	公益社団法人日本看護協会 看護開発部	看護師
12 月	令和 6 年度 福祉施設・在宅サービスにおける感染予防リーダー育成研修	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 実践教育部	看護師 2 名
2 月	看護補助者の活躍推進のための看護管理者研修	神奈川県 看護協会	看護師 2 名

・生活支援課

開催月	研修名	実施主体	参加者
6 月	令和 5 年度 障害者福祉制度の基礎	相模原市 障害者支援センター松が丘園	生活支援員
7 月	令和 5 年度 サービス管理責任者実践研修	特定非営利活動法人 シーガル研修・研究機構	生活支援員
8 月	令和 5 年度 サービス管理責任者実践研修	特定非営利活動法人 シーガル研修・研究機構	生活支援員
9 月	2024 年度 職員研修 実践報告会	神奈川県 重症心身障害児者関係施設協議会	生活支援員
11 月	重症心身障害児者関係施設協議会 交流研修会	神奈川県 重症心身障害児者関係施設協議会	生活支援員
12 月	身体拘束最小化の研修会	相模原市病院協会 看護部長会	生活支援員
	保育士・児童指導員(療育支援)コース	公益社団法人 日本重症心身障害児者	生活支援員

1 月	重症心身障害児者関係施設協議会 通所施設交流研修会	神奈川県 重症心身障害 児者関係施設協議会	生活支援員
	令和 6 年度 職員研修会 意思決定支援研修会	神奈川県 重症心身障害 児者関係施設協議会	生活支援員